

業 務 概 況

平成23年度

福島県県南保健福祉事務所

「安心して暮らし ともに生きる 健康福祉社会の実現」に向けて

急速な少子化の進行により、人口減少社会を迎える一方、県南地域では65歳以上の人口が総人口の20%を超えるなど高齢化も進行しております。

また、生活様式や価値観の多様化、生活習慣病の増加や新型インフルエンザの発生、経済・雇用情勢の悪化による生活保護受給者の増加など、社会環境は大きく変化してきておりますが、地域の課題により柔軟に対応していくために、県民の視点に立った保健・医療・福祉サービスの総合的・一体的な提供体制やシステムの再構築が求められております。

県南保健福祉事務所では、本年3月に県南地域における保健・医療・福祉の新たな地域保健医療福祉推進計画を策定し、市町村をはじめ関係機関・団体と緊密に連携して施策・事業の執行に努めているところであります。

なお、今年度は、健全な食生活をはぐくむための食育の推進、医師、看護師等の確保と質の向上、地域の子育て力の向上や子育て支援の促進、食品等の安全性の確保、健康危機管理の強化などについて、地域の特性を踏まえて重点的に取り組むことにしております。

このような中、3月11日に東日本大震災が発生し、過去に例のない深刻な状況が続いておりますが、県民一丸となって復興を進めていくため、県では「福島県復興ビジョン」を策定しました。

県南保健福祉事務所におきましても、特に、東日本大震災の避難者の健康支援のため、保健・医療・福祉の各関係機関と連携しながら一体的に支援者支援に取り組むことにしております。

本書は、当事務所の平成22年度事業実績及び平成23年度事業計画等を中心に、県南地域における保健・医療・福祉の現状、課題及び施策等について取りまとめたものであります。関係者のみならず、多くの方々に御利用いただき、県南地域の保健医療福祉行政の推進につつまして、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

平成23年12月

福島県県南保健福祉事務所長 遠藤幸男

目 次

	頁
第1章 概況	
I 県南地域の概況	
地域の特性 -----	1
II 県南保健福祉事務所の概況	
1 沿革 -----	3
2 組織機構図 -----	4
3 職員の配置状況 -----	5
III 人口動態	
1 人口動態の推移 -----	6
2 県南地域の死因の推移 -----	9
3 市町村別標準化死亡率（SMR） -----	10
4 市町村別選択死因一覧 -----	12
5 市町村別悪性新生物部位別死亡率（人口10万対） -----	14
6 病類別生活習慣病死亡率（人口10万対）及び割合（%） 県南・県・国比較 -----	15
第2章 平成23年度事業計画	
I 平成23年度県南保健福祉事務所の基本方針及び重点施策 -----	16
II 平成23年度主要事業計画 -----	21
第3章 平成22年度事業実績	
平成22年度県南保健福祉事務所事業体系 -----	31
I 生涯にわたる健康づくりの推進	
I-1) 心身の健康を維持、増進するための環境づくりの推進 -----	35
I-1)-ア 健康ふくしま21県民健康づくり運動の推進 -----	35
I-1)-イ 薬物乱用の防止 -----	36
I-1)-ウ こころの健康づくり -----	38
I-1)-エ 自殺対策 -----	39
I-2) 生活習慣病予防の推進 -----	41
I-2)-ア-1 たばこ対策の推進 -----	41
I-2)-ア-2 歯科保健対策 -----	42
I-2)-イ 保健医療福祉における研修の推進 -----	43
I-3) 健全な食生活をはぐくむための食育の推進 -----	44
I-4) 感染症対策（HIV、肝炎、結核、新型インフルエンザ）の推進 -----	46
I-4)-ア 感染症対策の推進 -----	46
I-4)-イ 結核対策の推進 -----	52

II 誰もが安心できる地域医療の確保

II-1)	安全・安心な医療サービスの確保	56
II-1)-ア	地域医療体制の整備	56
II-1)-イ	救急医療体制の整備	57
II-1)-ウ	難病対策の推進	58
II-1)-エ	献血者の確保	60
II-2)	医師、看護師等の確保と質の向上	61
II-2)-ア	地域医療体験研修事業	61
II-2)-イ	保健医療福祉の人材確保	62
II-3)	医薬品の有効性・安全性の確保	62
II-3)-ア	医薬分業の適正な推進	62
II-3)-イ	医薬品等の適切な使用、安全性の確保	63

III 子育て・子育てを支える社会の推進

III-1)	地域全体で子育てを支援する仕組みの構築	65
III-1)-ア	子育て支援を進める県民運動	65
III-1)-イ	多様なニーズに対応した子育て支援サービスの推進	66
III-2)	子どもの健全育成のための環境づくりの推進	66
III-3)	子育て家庭の経済的支援	67
III-4)	援助を必要とする子どもや家庭への支援	67
III-4)-ア	障がいのある子ども支援、総合療育体制の充実	67
III-4)-イ	子どもの権利擁護の推進	71
III-4)-ウ	ひとり親家庭の支援	71
III-5)	妊娠・出産・育児の一連において充実した保健・医療体制の確保	72
III-6)	次代の親を育成するための環境づくりの推進	73

IV ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進

IV-1)	人格、人権、個性を尊重する社会づくりの推進	74
IV-2)	誰もが人と人とのつながりを感じることができる 地域づくりの推進	75
IV-3)	生活に希望を持ち、自らの能力を發揮できる地域づくりの推進	76
IV-4)	高齢者を対象とした福祉サービスの充実	76
IV-4)-ア	健康づくりと介護予防の推進	76
IV-5)	地域生活移行や就労支援など障がい者の自立支援	79
IV-5)-ア-1	雇用と就労の促進	79
IV-5)-ア-2	自立の支援と社会参加の促進	79
IV-5)-ア-3	障がい者の地域生活移行の促進	80
IV-5)-イ-1	人権への配慮と医療の確保	83
IV-5)-イ-2	在宅福祉サービスの充実	83
IV-5)-イ-3	総合療育体制の推進	89
IV-6)	DV、虐待防止及び被害者等の保護・支援	90
IV-7)	生活保護制度の適正実施	91

V	誰もが安全で安心できる生活の確保	
V-1)	ユニバーサルデザインに配慮した人にやさしい まちづくりの推進	----- 97
V-2)	生活衛生水準の維持向上	----- 97
V-3)	安全な水の安定的な確保	----- 102
V-4)	食品等の安全性の確保	----- 103
V-5)	人と動物の調和ある共生	----- 105
V-6)	健康危機管理の強化	----- 107
V-6)	ア 災害時医療体制の充実	----- 107

第4章 資料編

I	各種参照表	
	参照表目次	----- 108
	各種参照表	----- 110
II	平成22年度学会等研究発表状況	----- 152

所 在 地